日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE: PROSPECT 0239-0239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

## 日曜講座

### 天變地異と信仰の心

吾等はこの問題を何と解釋すべきであるか。凡そ天地には二つの大法が動いてゐる。一は自然と協議の後、伊東伯と相談する書記官長は倉富、平沼正副議長と協議の後、伊東伯と相談する

世界である。◆

精神律の世界は藝術を生み、道徳を育て、哲学、宗教を發生し、來たのである。ことに科學の大進歩を促し、自然律を支配せられる類は逆に自然を捉へ、日本の大暴風、イタリーの地震、インドの洪水、米國の大旱魃、死者相續いで到る。災害相繼いで來る。何うして斯うした悲慘が起るのであらう、宇宙には一貫せる調和性が動いて居り、美と愛との大法が天地を支配してゐる、然るに何故斯の如き混亂と不秩序と醜悪とが突發し來るのであらうか、クリスト教徒は全知全能なる愛の神の存在を主張するも、斯くの如き慘事の續發するは、餘りにもその信仰、思想と矛盾するではないか。◆

又してもかういふ問題が起る。何故斯の如き混亂と不秩序と醜悪とが突發し來るのであらうか、クリスト教徒は全知全能なる愛の神の存在を主張するも、斯くの如き慘事の續發するは、餘りにもその信仰、思想と矛盾するではないか。◆

自然は利用し、自然を捉へ、自然を利用し、自然を捉へ、自然を利用し、自然を捉へ、自然を

# 米國にも澤山松茸の鑵詰が有りますか

中村領事赴任の旅裝

七月廿五日 日米東京支社

領事夫人は桑港を知らんけれども、桑港震災のすこし前、芳澤公使夫人が、米國に紙鹿して、御帰のために日本へ帰る途中、桑港に寄港したが、夜、乗こんで帆すると聞もなく彼の大震災でありたが、その時お腹一杯のお子さんが、御ちゃのこの領事夫人なのだからうまれぬ先から桑港には因縁があるわけである。

領事夫人は、桑港総領事館はじまつてから、今度がはじめてであるが、微々人ん殖へて仕事も増したので総領事館の陣立てを大きく仕直すわけであらう。

私は米國に始めてですが、若杉総領事が、米國通ですから、その下には私のやうな者ども安心をられますと領事中々お世辞がよいうまるほどですが、殊に外交官もさうですが、殊に領事の方面

領事夫人は桑港を知らんけれども、桑港震災のすこし前、芳澤公使夫人が、米國に紙鹿して、御帰のために日本へ帰る途中、桑港に寄港したが、夜、乗こんで帆すると聞もなく彼の大震災でありたが、その時お腹一杯のお子さんが、御ちゃのこの領事夫人なのだからうまれぬ先から桑港には因縁があるわけである。

# 歐米視察團第二班十三名
## タフト號で來る廿日到着
### 目下移民局抑留中の者と同一組織
### 移民官は入港前より調査開始す

目下移民局抑留中の歐米視察團第二行と同一組織のもとに日本に、種留中の十三名は振行券は無効外務省より下附されたが米國領事の査証遅れた爲一船遅れた六日發タフト號に乘組んだ旨某所に入電があつたが一行の顔ぶれは今回の觀光團と大差なく、いづれも地方の農村漁村の青年とあるらしいといふ、いまだ先着の視察團が移民局に抑留問題となつてゐる場合だから同船入港の際は今回と同樣の結果を見るにいたるだらうと。

# 總領事館より外務省へ
## 團體調査の電報
### 移民局より共助方希望
### 返電の結果局面展開か
## 明日又審問續行

移民局送りとなつた歐米視察團第一行中十八名に關する移民官の審問は昨日エンゼル島において續行され、昨日は土曜日の一日となつて數名を調査したのみに過ぎまり他は明月曜より審問續行されることとなつたが移民局は一等船客としてしかも團體に對して斯の如く嫌疑事件を取扱ふことはレコード破りのことと、すこぶる緊張味を帶び日本外務省の報告をまつて更に審問續行することとなつたが移民局は種々なる材料により不正入國者であるといふ疑ひをかけ目下嚴重取調べ中であるが、その眞相は未だ明瞭しないから領事館としての何等の意見を發表することは出來ないが移民局側から本事件があまり複雜になることから、この團體の組織や目的團員の

### 身分等について調査方

の申助を希望して來たのを總領事は早速外務省に電報で右の通報方を依頼したが未だその返電に接せず、本件は移民局の取調中故性質は明瞭せぬため上陸可否については明らかでないが前回二回類似の事件が發生し移民局側では迷惑してゐる場合とあり故に後の如き多數の疑點の多い渡航者の來航は今後正常入國者の渡航にも影響を及ぼすことも正常入國者に對し便宜を移民局に要求してゐる矢先非常に妨害にならぬ官憲がみなさんの一般の在留者に對しても、この上とも永遠の利益をかたるため厳力排除の覺悟を持ることを希望す。

### 不正入國

に對し極力排除の覺悟を持ることを希望す。

# 不正入國嫌疑に關し
## 若杉總領事の聲明
### 一般民も不正入國を排斥せよ

多數の邦人が觀光團として渡米し移民局に抑留されたといふことは、はなはだ好ましからざることで、もし正當に入國し得る者も正常入國者に對しては出來たらであるなら總領事館としても極力保護するの考へ方であるが移民局に不正入國者であるとの疑ひをかけ目下嚴重取調べ中であるとの旨を取扱ふことはレコード破りのことと、すこぶる緊張味を帶び日本外務省の報告をまつて更に審問續行することとなつたが移民局は種々なる材料により

# 桑港市況 八月九日

## 今週市況は極めて鈍し グレープ下落

下落續き

今週市況は殆ど荷物に向とされて市價は一般に下落傾向と見たが、グレープは北加物が大いに出荷され出したが昨年の市況に比して市價は極めて悪く殊に外の結果を實すると見られる。トメトは先づ捻買にて活況さらになくピンズも亦同様と見るキャンタローブは品薄で僅多少堅調を示す

▲概況 今週市況は殆ど荷物に下落傾向と見たが、グレープは北加物が大いに出荷され出したが昨年の市況に比して市價は極めて悪く殊に外の結果を實すると見られる。トメトは先づ捻買にて活況さらになくピンズも亦同様と見るキャンタローブは品薄で僅多少堅調を示す

▲プラム サンタローサ、ラグ一弗より一弗五十仙、バーバンクはラグ六十仙より八十五仙

▲ハネーデュー 八十五仙より一弗廿五仙で動きパーシャンは六十仙より一弗廿五仙にてサイズに依り市價の差を認める

▲グレープ 入荷増加してタムソン種はラグ四十仙より五十五仙、マラガ種は六十仙より八十五仙で平凡に終るモスケットは六十五仙より八十五仙

▲アププル グレーヴンスタイン種は上物入荷してラグ七十五仙より一弗、アレキサンダーは六十仙より八十五仙

▲ストロベリー 入荷は比較的減少して先づ平凡地方物クレーク一弗より一弗四十仙、上物一弗五十仙より一弗六十五仙、ドロワー五十仙より八十仙で殺荷多量ビスロー

▲ラスベリー ラスベリーはクレーク九十仙より一弗卅仙でスロー、上物一弗四十仙より一弗五十仙にて不振

▲ブラックベリー ブラックベリーはほクレート四十仙より六十仙

▲フィグ ミラション種は一弗廿五仙で平凡、ホワイトは五十仙より六十五仙

▲ピーチ ピーチはウイークドして一弗五十仙より七十五仙、エルバタスは五十仙より七十仙

▲キャンタローブ 市價の開きは大にしてウキムボーは一弗十仙より一弗五十仙、スタンダードは八十五仙より一弗廿五仙、ボーラットは五十仙より七十五仙、フは四十仙より六十五仙で平凡と見る

▲ペパー ペルペパーは斤二仙より三仙、チリペパーは五十仙より六十五仙

▲セロリー 地方物一弗より一弗廿五仙、オレゴン物二弗七十五仙より三弗

▲キユーカンバー ラグ五十仙より六十五仙、ピククルは六十五仙より一弗

▲レタス アイス物一弗五十仙より二弗五十仙、ドライ物縮不振にて廿五仙より五十仙

## 桑港市場 八月九日

### 果物相場 標準卸値

| | 價格 |
|---|---|
| アププル 四ラテ | 五〇 |
| グラスベリー | 一〇〇 |
| アレキサンダー | 六〇 |
| ブラックベリー 斤 | 五〇 |
| ピーチ | 一〇〇 |
| プラム | 五〇 |
| バナナ | 一〇〇 |
| 布哇 封箱 | 四〇 |
| 中米 帝國 | 四〇 |
| コーチニラ | 五〇 |
| ドライ物 | 五〇 |
| ドライ物縮不振 | 四〇 |
| ドライ物縮不振 | 四〇 |
| ドライ物縮不振 | 四

# 南加版

## 見事な山車でアッと言はせる
### オレンヂ郡共進會に兩日會が共同して

南加各物の一つ、オレンヂ郡共進會は來月末頃から開催されるが今年は特にガーデングローブ日曜學校佐々木、西川、倉本、小林、野崎。增田の諸氏が熱心になって米親會とも協賛し合ひ、ガーデングローブの奔走してゐる。ガーデングローブ市からは二百弗を援助するこになった。目下相原、佐藤

# フレスノ【八日】

## 本年のレーズンはアドバンス二仙半迄

### 耕作者の手取りは其以上は越にまじと

既報のごとくグロアーシクパー組合の總會は昨日午後カリフオルニヤホテルにおいてひらかれ葡萄出荷組織に關する暫定協約を如何にすべきやにつき協議したるが、結果については詳しく發表がないから知ることは出來ないが、總會の氣分はコントロールボードをして調印せしめずんば農救局のプログラムを如何にして進め、かつ農救局より定のアドバンスをよりは即刻本日桑港に於ては本年は三仙のアドバンスは到底不可能である。まづ耕作者の手取二仙半までなれば或は出荷組織協約未だ成らざるも出荷するが如き方法はあらざるべしとのことく、組合長ホワイト氏は本日桑港において次の如き意見に一致せるもの多く、支拂はしむる方法はあらざるべしといふ意見に一致せるもの多く、支拂はしむる

サクラメント 支社 電話 メーン三〇六六 【九日】

# フオルサム監獄で夜分ピリの取調べ

## 囚徒を獄房に収監の後に日取りは來る十四日頃か

十四年前の七月廿二日桑港を震撼し、行列の際に起つた爆弾破裂事件は當時のホーム要塞人マクナルドの讃言を聞いたことによつて問題となり過日桑港大審院の再審となり上院室に知られ特殊陪審官の前に訊問すべしとの事であつたが物々しい警戒のもとに裁判は果して無罪釈放となり事件は益々迷宮に入りやがて世の感のあるが當時の犯人目されたムーニーの合棒ローレンス・ピリングを

▲フオルサムの監獄から袋叩きに引き出して桑港大審院に送る

特殊陪審官の前に訊問すべしとの事であつたが物々しい警戒のもとに裁判は果して無罪釈放となり事件は益々迷宮に入りやがて世の感のあるが當時の犯人目されたムーニーの合棒ローレンス・ピリングをそれぞれ大陪審官連が同監獄に出張すべしと云ふことになつたプリンボードの後入連は此の事に關して九日同監獄に會合し日取りと時間を決定した筈

▲フオルサム監獄の囚徒を獄房に入つた後の夜分ならば何時ともよろしいと云ふことになつた

▲食を清よして獄房に入つた後の夜分ならば何時ともよろしいと云ふことになつた

来十三日か十四日監獄内で取調が開始される。但し監獄には二千百名の囚徒が敢容してゐることなれば萬一を慮れば其の方面を警戒せねばならぬので典獄スミス氏の取計らひで囚徒が夕食を清よして獄房に入つた後の夜分ならば何時ともよろしいと云ふことになつた

▲フオルトンで幹事會　北加州日本人會の幹事會を來る十二日ヒイルトンで開催し在外臣民登録事務と上陸調査に關し協議

▲竹内直喜君婚約　當市の竹内直喜君（二十九才）は今春日本より渡米せし黒住米子嬢（十九才）と目下度々婚約成立し本十日午後七時より在外臣民登録事務と上陸調査に關し協議

▲郵便局時間厳守　市内郵便局は秋は子供の夏休みを思ふて五時金以上を投じて農園と家族を少しでもの助にと、因みにパタビルの賃料は百八十七人を減じて昨年度より百八十七人を減じ昨年度より二百八十九人の減少

▲再び邦人調査に就て　既報のごとく海外邦人調査及登録に關し本日日本人會幹部澤田鉄金部總幹事は

▲一時歸國　當地農業家の幸棒人の親玉和歌山縣人大鉄次郎吉夫婦は來る十五日の便船で一時故國訪問すべく明日出発

▲矢ノ平婚約　二ケ月前日本より渡米されし當地の農業家和歌山縣人矢ノ平留吉郎氏次女

▲高山師の後任　先日歸國された高山牧師の後任は未だ決定せざるも當分の間パタレーの神戸

▲藤村日本人會理事會　藤村日本人會理事會は日曜日事務所に開催、出席者志賀（幸）定塩、澤村、小林、小林、元木幹事、諸報告あり

▲賣▶　エルグローブ日本人学校西隣りにて土地（十英町）はフルアクレ（一パイ）五英町レベルにて

▲貸▶　エルグローブ日本人学校西隣りにて土地（十英町）はフルアクレ（一パイ）五英町レベルにて

▲ピアス號にて遭難　ピアス號にて遭難し行方不明の夫人の實家にて捜索の結果、夫人の位置が判明し、夫人の生死は目下調査中

▲ローダイ西本氏を訪問　ローダイ西本氏を訪問すべく同氏方に滞在の筈

▲一週間百七貨車　去一週間に當パタビルより東部に輸送せる生米百の貨車數は百七貨車にて本週に入り百二十貨車に達し

▲家屋全焼　當地の山手に農業に従事してゐる、神奈川縣稲木ハ子夫人の家屋は家族一下人の不注意にて夕ラブの實ふ所

▲登録者九百五十四　來る二十六日のソラノ郡の登録に對する登録者の總數は一萬四千九百一

▲郵便局時間厳守　市内郵便局は秋は子供の夏休みを思ふて五時金以上を投じて農園と家族

▲竹内直喜君婚約　當市の竹内直喜君（二十九才）は今春日本より渡米せし黒住米子嬢（十九才）と目下度々婚約成立し本十日午後七時より在外臣民登録事務と上陸調査に關し協議

▲フオルトンで幹事會　北加州日本人會の幹事會を來る十二日ヒイルトンで開催し在外臣民登録事務と上陸調査に關し協議

▲井芹源蔵氏に寄附　ホーランド日本人會は井芹源蔵氏の農業家鶴太郎氏の浅間丸に一時帰国

▲市民協會の招待會　當市の狐市民協會のサンオキン郡東部クランシー氏並びにムーア氏▲須田治郎氏▲ミラー氏▲遠藤管理官

▲デザートコースに入るや司會者の指名により日系民衆代表として自己紹介をなした後協會幹事長川崎

▲汎佛青會議より寺川氏歸須　汎太平洋佛教青年會聯盟に北米

▲高山師の後任　先日歸國された高山牧師の後任は未だ決定せざるも當分の間パタレーの神戸

▲藤村日本人會理事會　藤村日本人會理事會は日曜日事務所に開催、出席者志賀（幸）定塩、澤村、小林、元木幹事、諸報告あり

▲郵便局時間厳守　市内郵便局は秋は子供の夏休みを思ふて五時金以上を投じて農園と家族

▲竹内直喜君婚約　當市の竹内直喜君（二十九才）は今春日本より渡米せし黒住米子嬢（十九才）と目下度々婚約成立し本十日午後七時より在外臣民登録事務と上陸調査に關し協議

▲フオルトンで幹事會　北加州日本人會の幹事會を來る十二日ヒイルトンで開催し在外臣民登録事務と上陸調査に關し協議

▲郵便局時間厳守　市内郵便局は秋は子供の夏休みを思ふて五時金以上を投じて農園と家族

▲竹内直喜君婚約　當市の竹内直喜君（二十九才）は今春日本より渡米せし黒住米子嬢（十九才）と目下度々婚約成立し本十日午後七時より

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

# The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

NUMBER 11,058. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIFORNIA, SUNDAY, AUGUST 10, 1930.
Copyright 1930 By The Japanese American News
Per Month $ 1.00
Per Year $11.00

## T. MAYEDA IS SPEAKER ON JAPAN LABOR

### Night Lecture Opens Institute Meet in Berkeley

[Special to The Japanere American News]

BERKELEY, Aug. 9.—Wheeler auditorium was crowded to capacity last night with a brilliant gathering of scholars and students of international affairs of world note in attendance at the sixth annual meeting of the Institute of International Relations. The meeting was opened by Robert G. Sproul, president of the University of California and chancellor of the institute.

One of the three speakers of the evening was Tamon Mayeda of the Tokyo Asahi Shimbun. Mr. Mayeda spoke on the labor conditions of Japan. Beginning with a rapid review of the history of Japan from ancient times through the restoration and the awakening of Japan, Mr. Mayeda prepared the back ground for the discussion of the labor conditions now prevalent in Japan.

**MAYEDA'S ADDRESS**

Mr. Mayeda's address was the first half of a discussion of the subject which he will continue Sunday evening.

"If you take into consideration the fact that while the number of organized workers throughout the world has shown a tendency to decrease during the past few years, due to worldwide economic depression, the number of organized workers in Japan has increased by leaps and bounds, you will realize the importance and promising future of their position," the speaker declared.

"Since 1923 the number of organized workers has grown from 70,000 to 330,000. The increase is all the more remarkable since it has been achieved in spite of severe economic depression and in spite of the very hostile attitude of the employers and the reluctant or indifferent attitude of the government.

**FREE OF INFLUENCE**

"The labor movement has shown a moderate tendency since the earthquake of 1923, and at that time radical anarcho-syndicalism was discarded. It would be misleading to imply that since then the movement has been free of extreme radical influences, even though the general trend has been more moderate.

"The great weakness of the Japanese labor organizations is their tendency to split up into small groups and quarrel one with another. An attempt was once made to unite all of the organizations, but it failed because of conflicting opinions and personal jealousies of the leaders. The insinuation of communistic elements in several labor unions contributed a great deal to this disunion."

Dr. Sproul's opening adress dealt with the question "What Is Internationalism?" The president stressed the growing need of internationalism in this world of rapidly growing means of communications and the necessity of changing men's thoughts before the physical facts of the world could be altered. In part he said,

**WAR IS RUINOUS**

"War today is the most colossal and ruinous disease that afflicts mankind. Yet the possibilities of war are greater than they ever were, for no nation in the world of airships and radio can withdraw unto itself in splendid isolation. On this little globe of today we are all neighbors, made so, whether we like it or not, by transportation and electricity.

"The failure to realize that there must be disarmament in spirit before there can be disarmament in fact has been one of the greatest obstacles to progress in true internationalism."

Dr. Hinton gave a very interesting and able presentation of the problems arising in the British dependencies in the Pacific. He discussed the British empire from the racial, cultural, political, and economic standpoints.

**BRITISH POLICY TOLD**

"England," he said, "is entirely dependent upon the outside world for it's sustenance and, therefore, is committed to internationalism."

'Severe tariff does not stop but only deflect trade," was his comment on America's recent tariff bill.

## AN AUTHORITY ON JAPAN

MR. AND MRS. TAMON MAYEDA, who are in Berkeley attending the Institute of International Relations. Mr. Mayeda is one of the leading speakers at the institute.

## 'YOUNG MAN, GO EAST,' MAY BECOME SLOGAN IN FUTURE

### Thus Sayeth a Writer from Way Down in Dixieland

Who was it that said, "Young man, go west?" Well, whoever he was, he will have to recant maybe, for here is an opportunity which might lead him to say "Young man, go east."

Word comes from Georgia, (down in Dixie,—not in the Caucasus mountains of Russia, or wherever the other Georgia is) that thousands of acres of the most fertile river bottom land exists in Georgia waiting for some enterprising Japanese to come and develop it.

"Stockon delta? Why this place in old Georgia has Stockton peat land beat a mile," says our informant from the east. According to the writer all a farmer needs to do to water his land is to wait for the tide to rise and water his land, and that, too, without bringing in salt water. That, by the way, might make it a fine place to raise rice, celery, and other crops which need a great deal of water.

Socially speaking it must be a fine place which welcomes Japanese and has as yet no laws against them, as the writer claims.

"Therefore, young man, go east," may be an apt and new advice thinks the writer. Anyway, variety is the spice of life, they say.

### Stanford Graduate to Teach at Tufts College Next Year

Stewart Nakano of Los Altos, graduate of Stanford university, will become assistant professor at Tufts college next year while continuing his work for an advanced degree, it was made known recently. He received his degree from Stanford in economics last year.

Before entering the university, Nakano attended the Palo Alto Union high school.

## JAPAN PARTY IS DETAINED

### 18 Business Men Are Being Held at Angel Island

Eighteen of the party of 21 prominent business men in Japan who arrived in San Francisco Wednesday on the President Pierce were sent to the Angel Island last Thursday by the immigration officials for further investigation.

Three members of the party have already landed and are staying at the Imperial hotel on Pine street. They are Messrs. Yamane, Usutani, and Mizutani.

The party came to this country to study business conditions here, under the leadership of Mr. Yamane. The tour is being sponsored by the Osaka Jiji Shimpo, a newspaper published in Osaka.

## NEW LEADER IS GREETED IN SPOKANE

### Yuki Kuwahara Given Warm Welcome at School Outing

[Special to The Japanese American News]

SPOKANE, Aug. 9.—The local Epworth league members will fete their parents at a good-will dinner to be held on Sunday, August 10. The affair will be held at the Japanese mission.

**KOKKO GAKKO HAS ANNUAL OUTING**

The Kokko gakko annual outing was held at Audobon park on Sunday afternoon, July 27. All enjoyed games led by the committee in charge of the games.

The program opened formally with a greeting to Miss Yuki Kuwahara, newly appointed religious director of the local church, by Harry Yoshida. Miss Miyoko Yoshida, representing the Kokko gakko also extended words of greeting. Miss Kuwahara responded.

The committee in charge of the outing was headed by Miss Kazuko Okamoto, chairman.

**MRS. ALEXANDER FETES MOTHERS**

The Japanese mothers and their daughters here met Mrs. Alexander at a party which took place recently at the home of Judge Huneke. Mrs. Alexander is the head of the Mothers' club of Aoyama gakuen in Japan, and has stayed in that country for more than 35 years.

### School Principal Elopes With Young, Attractive Pupil

[Special to The Japanese American News]

FLORIN, Aug. 9.—The story that a local grammar school principal has eloped with his 14-year old pupil, one Dorothy Bonucelli is creating quite a sensation even among the Japanese residents here, since the two-thirds of the enrollment of the school the principal is connected with is made up of Japanese children.

Dorothy disappeared from her home on July 24, her parents said. It was first thought the girl was kidnapped. However, after piecing together the information that the principal disappeared about the same date and what the girl told to her schoolmates about her secrets it is concluded by the sheriffs here that the two eloped.

The principal has two sons, one four and another eight years old, and one six-year old daughter.

## IF HAMILTON COULD SPEAK

By GLENN FRANK

If the dead could clearly speak to the living, if communication between long-dead leaders and their latter-day followers were established, I think Alexander Hamilton would want just now to write a letter of counsel to the Republican party.

And here are some of the things I think he would have in mind as he wrote:

I think he would agree with Thomas Jefferson that contemporary conditions in this complicated, technical, corporate America require a new kind of decentralization. Not the decentralization of power out of the Federal government into the hands of the State governments, which he consistently opposed when alive and active in American politics, but a decentralization out of politics into the hands of the functional groups in business, industry, finance, agriculture, labor, and so on.

I think Hamilton would be glad to see the Democratic party take as its special obligation in contemporary America the working out of this functional decentralization, which yesterday I suggested might be called the New Jeffersonianism.

But, alongside this "new decentralization" which I think Jefferson, were he alive, would advocate as the New Jeffersonianism for the Democratic party, I think Hamilton, were he alive, would advocate a "new centralization" as the New Hamiltonianism that the Republican party might well assume as its special obligation to foster in contemporary America.

Hamilton would recognize, I think, were he alive and active in American politics, that in a complicated, technical, corporate social order like ours, the centralization of too great power over the day-to-day functioning of the economic life of the nation in the hands of amateur politicians is dangerous.

At the same time, I think he would be impressed by the fact that economic America is today suffering from a helter-skelter piece-meal leadership. Within our separate industries, he would see superb leadership making rapid progress in coordinating the varied factors in the interest of human as well as financial profit; but he would be impressed, I think, by the fact that we have very little inter-industry coordination. It would strike him as incredible, I think, that, with such statesmanship leadership in our separate industries, we should be so utterly lacking in unified national economic planning that we suffer panic in the midst of plenty.

And so, while Hamilton would, I think, be skeptical of too great centralization of control, I think he would see the need of a new centralization of counsel.

I think he would challenge the Republican party to assume as its special obligation the development of a national agency of research and counsel that would seek to focus the genius of the nation on the problem of coordinating the separate economic leaderships of the nation so that economic America might face the future with unified aim and action.

This he would announce, I think, as the New Hamiltonianism.

## Mt. Asano Eruption Threatening Nearby Resort, Karuizawa

[Special to The Japanese American News]

TOKYO, Aug. 9.—Mount Asama, in violent eruption since 10:20 p.m. last night, is threatening to bury Karuizawa, favorite summer resort of Europeans.

At 3:20 a.m. today most of the foreigners had fled to Tokyo.

The entire countryside has been thrown into a panic.

## 'BIG MISTAKE?' ASK CHIEFS

### New War Threatens as Council Members Weigh Text

[Special to The Japanese American News]

TOKYO, Aug. 9.—The pot is still boiling in the Privy Council discussions concerning the London treaty. However, the matter concerning the seeing of the memoranda submitted to the Emperor by the Naval board has been given up temporarily.

Members of the Investigation committee will be chosen by August 11 and it is expected that the first meeting of the committee can be held about August 14.

More fuel was recently added to the heat of the situation by rumors to the effect that the treaty had not been correctly translated. The only remark that Kijuro Shidehara, Minister of Foreign Affairs, would make was the sarcastic statement that if the rumors were true, then Naokichi Matsunaga, head of the Treaty Recording bureau, and he would both take the old fashioned method of atonement by committing hara-kiri.

Investigation concerning the so-called "mistakes" revealed that the Privy Council were only trifling with words. For instance, Senate had been translated the Upper House, and metal measurements had been designated as "sunpo."

The controversy, however, has subsided now and it has been decided that the translation will be accepted as it stands.

### Oriental Art Being Displayed Aug. 11 to 15 in Berkeley

[Special to The Japanese American News]

BERKELEY, Aug. 9.—Under the sponsorship of the Institute of International Relations meeting on the University of California campus August 8 to 15, an exhibit of Oriental art will be held on the fourth floor of Haviland hall, from Monday to Friday, August 11 to 15, inclusive. The exhibit will be open to members of the Institute and to the public, from 10 a.m. to 5 p.m. daily.

The display is being prepared by a group of East Bay residents who are interested in promoting a wider appreciation of the art of the Orient. It will deal largely with representative types of Chinese and Japanese pictorial art, indicating the historical development of this work throughout the centuries. Examples of the Chinese printer's art will also be shown concurrently in the loan room of the university library. The collection of printed works will include interesting reprints from Sung dynasty books, under the special charge of M. J. Hagerty of the U. S. Department of Agriculture, a member of the advisory committee in charge of arrangements.

Professor Esson M. Gale, chairman of the Oriental department at the university, is in general charge of the exhibits, and an advisory committee consisting of the following prominent men and women in addition to Hagerty, are assisting: Mrs. Anson Blake, Alfred Bender, L. Gump, H. H. Hart, T. Z. Shiota, G. T. Marsh, and Samuel J. Hume.

### Japanese Florist Is Making Flower Carriage for Fair

Upon request of the chairman of the coming California state fair, held in Sacramento from September 1, Einosuke Takahashi, prominent local florist, is working on the design for a decorated covered-wagon to be exhibited at the fair.

The covered-wagon, which will be pulled by an oxen, will be elaborately decorated by vari-colored California flowers, according to the present plan made by the Japanese florist at his Drive-In flower shop on Geary street.

Mr. Takahashi is said to be the originator of dried-flowers in the United States.

### Local Fire Cause of Slight Damages

Slight damages were sustaned by Frank Tomioka, 520 California street, when a fire occurred at his home at 11:50 a.m. Friday.

## CROPS DOING WELL IN AUG. IS REPORTED

### Favorable Weather Is Great Boon for Truck Farms

Favorable weather in virtually all of the truck crop sections of California during the week ended August 6 has produced normal growth in most vegetable crops, according to the California Co-operative Crop Reporting Service.

The melon harvest in the San Joaquin valley is well along and tomatoes are now holding the interest of most sections. From present indications the quality and production of fall vegetables should be above normal.

Peak of the cantaloupe shipments has passed, but the movement should hold fairly steady for another ten days. Watermelons should remain steady for the next two weeks, while lettuce loadings at the present time are influenced by market conditions, but could maintain a 90 to 100 car average should the market justify.

Western blight has taken considerable toll of tomato plants in the southern counties and in the San Joaquin valley, but in other sections vines are making good growth. A heavy set of blossoms and fruit is reported on the canning acreage, which will start harvest this month.

## NEWLYWEDS GIVE HIROKAI

### Mr., Mrs. Nakashima, Host and Hostess at Luncheon

A wedding hiro-kai was given by the newlywed couple, Mr. and Mrs. Kaoru Nakashima, at the Ogawa hotel Saturday noon.

The pair were married July 27. Mr. Nakashima belongs to the staff of the Japanese consulate in this city. Mrs. Nakashima, formerly Miss Kaeko Domoto, is the daughter of a well known florist Kanetaro Domoto of the Bay region.

Those attending the luncheon were Consul-general and Mrs. Wakasugi, Mr. T. Abe of the New World newspaper, Mr. H. Shishimoto, editor of The Japanese American News, and leading florists of the bay district.

### Hard Times Cause Wakayama Theaters to Close Business

[Special to The Japanese American News]

TOKYO, Aug. 8.—As a result of the hard times prevalent all over Japan today, all the theaters and other places of amusement are being closed in Wakayama.

**JAPANESE IN COLLISION**

The Ford coupe driven by S. Matsumoto, 204 23rd street, collided into the Buick coupe, driven by one Eleanor Keith, 24, at Geary and 5th street Friday morning, causing heavy damages for the both parties.

### Japan Government Will Sell Rice to Stabilize Prices

[Special to The Japanese American News]

TOKYO, Aug. 9.—With the price of rice taking a slight rise recently, the government has decided to sell out one million koku of rice which had been bought up previously in order to help stabilize prices. As a result, rice prices have been lowered to ¥25.97 per koku.

## NEW CONSUL TO ARRIVE

### T. Nakamura Sails on Chichibu Maru for S. F. Post

[Special to The Japanese American News]

TOKYO, Aug. 9.—The new consul for San Francisco, Mr. Toyoichi Nakamura sailed for his post yesterday on the Chichibu Maru. Accompanying him was Mrs. Nakamura. Consul Nakamura is the son-in-law of Japan's ambassador to France, Kenkichi Yoshizawa.

At the pier to see them off was Tsuyoshi Inukai, veteran statesman of Japan and the president of the Seiyukai party. Mrs. Nakamura is a granddaughter of Mr. Inukai.

On the same boat were Yoshimoto Komatsu, of the business staff of the Los Angeles Japanese American News, and Otoichi Kinoshita who has formerly led several tourist parties to Japan.

### Church Clubs Begin Activities Again as School Doors Open

With the opening of the local schools on Monday the young people's organizations here will begin spinning their wheel of club activities.

On Sunday night three church organizations of this city will hold their business meetings at their respective churches.

The Epworth league of the M. E. church will plan for the semester at its meeting which begins at 7:30 p.m. President Ryuzo Maeyama will preside over the meeting.

The Christian Endeavor society will hold its business meeting at the First Reformed church on Post street. The meeting which starts at 8 p.m. will be presided over by Yoshio Hayashi, first vice-president. President Kaoru Hirota is still out in the country working.

The Friendship circle of the Church of Christ on Post and Octavia streets will have its first business meeting of the semester.

Nine organizations affiliated with the Japanese Y.M.C.A. of San Francisco will begin their club activities from next week. The clubs are, the Comrades, the Explorers, the Adventurers, the Minute Boys, the Musketeers, the Employees, the Junior Hi-Y, the Hi-Y, and the Y. M. D.

## NEW TERM IS TO START ON AUGUST 11TH

### S. F. Schools to Have 88,200 Enrollment This Semester

Approximately 88,200 children and adults are expected to enroll in the various departments of the San Francisco school system when the 1930-31 term opens next Monday, school officials announced.

This will be an approximate increase of 3600 over the enrollment during the last term.

Of the 116 schools that will open for classes, four will be new schools, while there will be additions to present school buildings.

**NEW UNITS**

Among the new schools and additions completed are the second unit of the Balboa high school, the Winfield Scott school in the Marina district, the Polytechnic high school, the Roosevelt Junior high school, the Geary Street Elementary school and the Park Presidio Junior high school.

Children in the Richmond district are planning on christening the classrooms of the new junior high schools in that district, the Roosevelt Junior high school and the Park Presidio school.

**REGISTRATION HEAVY**

The Roosevelt school, built to accommodate 1200, already has a registration of 1205 for the opening day. The Park Presidio school has accommodation for 1500 pupils and 1201 have thus far registered.

The Park Presidio school will have classes from the low seventh to the low ninth, inclusive. These pupils were formerly enrolled in the Lafayette, Alamo, Argonne, Sutro and Cabrillo elementary schools.

**ANDERSON SELECTED**

Carl Anderson, former principal of the abandoned Hamilton Junior high school, has been selected to direct activities at this school.

The pupils to be housed in the Roosevelt high school were formerly accommodated in the Crocker and Hamilton Junior high schools.

Ralph Lehman, former principal at the abandoned Crocker Junior high school, will be principal at the Roosevelt school.

### Oakland Children Having a Thorough Health Examination

[Special to The Japanese American News]

OAKLAND, Aug. 9.—More than half-hundred Japanese children of this city last Thursday had their little bodies examined by the Japanese doctors here on the first day of the health examination being sponsored by the Oakland Japanese association. The examination is being conducted free of charge.

The Japanese doctors here who are giving their services without renumerations are Drs. Yamada and Fujimori, physicians; Drs. Yahata and Hayashi, dentists; and Drs. Yamasaki, Taketa, and Horita, midwives.

## JUNIOR AND SENIOR CLUB

**Hello, everybody! Come and sit in my office with me, everybody, and gaze out into the white fog and mist of San Francisco. Is it very hot where you are? Then so much the better! It's cool here. In fact, it's cold, to be frank.**

—Junior—

**Happy birthday, Ruth, Hime, and Tsuyuko! Members, August 11 is the birthday of Ruth Suzuko Yamashita, Rt. Box 701, San Jose, California, and Hime Sasaki, 2462 Wall avenue, Ogden, Utah, and Tsuyuko Koga, P. O. Box 217, Dinuba, California.**

—Junior—

Auntie is sitting here and wondering what all her nieces and nephews are doing. Maybe if I shut my eyes, I could see what you are doing.—Oh, look! Way out in Oklahoma someone is thinking of Aunt Mia. I can hear her talking.

"Hello, Miss er—ah—Oh, dear! I've forgotten the young lady's name. Anyway, she's the one that has the letterphone. Are you listening in? Surely hope so for I'd like to borrow that instrument, if I may please. There, I've taken it for granted that I may. Thanks, heaps.

"Long distance, please.

**"San Francisco. Calling Aunt Mia at the Japanese American building. My name? Miye Maruyama, Route 2, Box 189, Sapulpa, Oklahoma and the phone is 9503F5. In half an hour? All right.**

**Well, well, well! Wonder if Aunt Mia's dreaming. But I heard it all so distinctly! I wonder..... There goes the telephone bell! Hello! Hello!**

"Hello, Auntie Mine? (This is Aunt Thine.) How are you today? (Fine, thank you. Who are you?) I'm Miye. That's saying lots. No? Well, I'm your Oklahoma niece, and I'm a veteran member of the club. I'm —er —just about—almost—well I'm sixteen. I hated to tell you, but you could've looked it up easily enough and I thought I'd save you the trobule. I'm hot. Can you feel the heat coming through the receiver? (No, San Francisco is almost cold.) I'm glad to hear that someone on this mundo's feeling cool. Can you hear me plainly, Tia Mia? (I can hear you perfectly, Sobrina Miye.)

**"I'd like to tell you something about my beloved Oklahoma if I may? Everyone else is boosting their state so it's about time Oklahoma is getting her share. I'm attempting to shove it up to the cielo, so here it goes.**

**"I'll give you a land of sun and flowers, and summer the whole year long,**
**I'll give you a land where the golden hours go by to mocking birds song,**
**Where the cotton blooms, 'neath the southern sun and the vintage grows thick on the vine,**
**A land whose story has just begun, 'tis this wonder land of mine!**
**Oklahoma! Oklahoma! Fairest daughter of the west!**
**Oklahoma! Oklahoma! 'Tis the land I love the best!**

"The composer more than likely didn't stay here until winter for it does get cold here and we have about as much snow as anyone could possibly wish for. And oh, yes! He forgot about the Indians and the oilwells! The latter are our pride and joy, for Oklahoma is the largest oil producing state in the world. I mean she produces the most oil and the Indians make this state picturesque. Oh, yes, my offer to introduce the club members to Sitting Bull the Second and the original Standing Cow still stands.

**"I'm terribly sorry to hear that Obasan Ruth is ill. I'd write to her, only by this time I feel that she is well. You see Tia Mia, by the times news gets to me, it's so stale I can almost taste it. It takes so imbearably long to get mail from far off California. Perhaps you will let me speak to her. Yes? —Oh, dear! Time's almost up! Now I'll have to be content to just have you tell her hello for me. You will, won't you? Thank you lots.**

"Querida Tia Mia, it's been delightful talking to you, only I've done all the talking. Well, never mind. I'll have a change of heart one of these days and ring you up. Then I'll let you put in a hello. All right? (Certainly, Miye. Aunt Mia would rather have you talk, any way. Some of these days when Aunt Mia wants to talk she will start a column in the paper and just chat all by herself. How would that be? Just to get even, it might be nice.) There's one consolation, though. I can listen in everyday, (like our rural phone, only I'll have a right to listen in) and hear you talking to the other members, and in doing so, enjoy myself.

**"Adios, Auntie Mine, and thanks for listening so patiently."**

**Adios, Miye. Call up again, please. It's lucky that this is a letterphone. Otherwise, it would cost a fortune.**

—Junior—

**Oh, yes! Everybody, how about more pictures? Or drawings? How are the contest articles coming along? Do I hear the pens scratching?**

**Auf Wiedersehen! Morgen werden wir wieder sprechen und lachen. Was that German right, everybody? Bye-bye.**

**Aunt Mia.**